

# 御曹子社

(蒲冠者範頼之社)





蒲冠者(かばのかじゃ、かばのかんじゃ、鈴鹿では「がまのかん  
じゃ」と呼んでいる)と呼ばれた源頼朝を祀った社

武道・学問の神です

範頼の息子継白(つぎしろ)の墓もあります



御曹子社

蒲冠者かまのかん範頼しやのりを祭よりった神社。

範頼みなもとのよりは源頼朝よしもとの弟であるが、  
武道、学問にすぐれていた  
ので、それらの願望がんぼう成就じゆじゆの  
神様といわれている。

昔は弓矢を奉納し、文武  
の向上を祈願きがんする習わしが  
あった。境内けいだいの左側には神じん  
馬め(模型)とそのきゅう舎やが寄  
進いんされている。

神社の南約六十mのところに  
範頼ゆかりの蒲桜かすけ(県指定  
文化財)がある。

平成四年十月

石薬師魅力再発見委員会

〔鈴鹿市市制五十周年記念事業〕